

# イスラエル経済月報（2021年11月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 友澤 孝規）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道） .....	2
主要経済指標.....	6
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 政策金利（Interest Rate）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	11
<b>スタートアップ</b> QUMRA'S TOP11:2022年に注目すべきイスラエル企業	
<b>スタートアップ</b> イスラエルのスタートアップ企業の買収額が年間95億ドルに	
<b>国家論</b> イスラエルの次の100年におけるSTARTUP NATIONの役割とは？	
<b>マーケット</b> ウォールストリートの現実が、イスラエルの技術系ユニコーンをプライベートな厩舎へと追いやる	
日本-イスラエル 経済関係.....	22
<b>一般動向</b> イスラエルに向けて疾走する新幹線	
<b>サイバーセキュリティ</b> 高度かつ安全なAI利用の実現に向け、イスラエルの研究拠点にて富士通とベングリオン大学が共同研究を開始	
<b>インシアテック</b> MS&ADがイスラエル企業 VESTTOO の投資に参加	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ） .....	28
<b>NEW!</b> <b>エネルギー</b> ENERGYVEST（2021年12月15日、エイラット）	
<b>NEW!</b> <b>モバイル</b> ISRAEL MOBILE SUMMIT 2021(2021年12月15～16日、オンライン)	
<b>サイバー</b> CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022（2022年1月25～27日、テルアビブ）	
<b>観光</b> IMTM2022 - 28TH INTERNATIONAL MEDITERRANEAN TOURISM MARKET （2022年2月8～9日、テルアビブ）	
<b>防衛</b> ISDEF2021（2022年3月21～23日、テルアビブ）	
<b>スタートアップ</b> 2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT（2022年5月25日、エルサレム/オンライン）	
日本における関連イベントの予定（目次掲載は主要なもののみ） .....	31
<b>ライザイン</b> 第4回 KBIC グローバルウェビナー（2021年12月8日、オンライン）	
<b>NEW!</b> <b>イノベーション</b> 浜松市主催イスラエルセミナー（2021年12月17日、オンライン）	
<b>NEW!</b> <b>イノベーション</b> イスラエル DeepTech スタートアップとの共創実現のカギ（2021年12月20日、オンライン）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

## イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 イスラエルのベネット首相等は、英国グラスゴーで開催された気候変動の COP26 に参加。イスラエルは 2050 年にカーボン排出のネットゼロを目指す旨を表明。
- 1日 イスラエル・米国の暗号通貨企業 Celsius Network は、イスラエルのサイバーセキュリティ企業 GK8 を 1 億 1500 万ドルで買収。GK8 創業者は首相府出身。
- 1日 イスラエルの Firsttime は、1 億ドル規模の Climate-tech ファンド創設をアナウンス。国連の SDGs に沿った数少ないファンドの一つとなる。
- 3日 不動産投資マネジメントプラットフォームを開発するイスラエル企業 Agora は、900 万ドルを調達。Aleph がリード。創業者の 3 人は 8200 部隊出身者。
- 3日 Intel のスタートアップ育成プログラム Intel Ignite への 5 番目の参加メンバーとしてスタートアップ 10 社がアナウンス。同プログラムには 220 の応募があった。
- 3日 世界的な投資銀行・ウェルスマネジメント企業 UBS は、イスラエルに初めて R&D センターを設立すると表明。AI によるサイバー攻撃への懸念等が背景。
- 5日 イスラエルの 2022 年度予算が成立。前日の 2021 年度予算成立と合わせて、予算の期限内不成立によるクネセット解散の可能性はなくなった。
- 7日 大企業の法令違反等を発見する機械学習を活用したプラットフォームを開発するイスラエル企業 Darrow は 2000 万ドルを調達。創業者は弁護士と 8200 部隊出身者。
- 7日 イスラエルの車テレマティクス企業 Traffilog と SafeRide は合併して、数億ドルの評価規模となる見込み。SafeRide は AI を活用した車の健康管理技術等を開発。
- 8日 ボストンを拠点とし、世界最大と表す AI を活用した薬発見エンジンを活用して医薬開発を行うイスラエル企業 DeepCure は、4000 万ドルを調達。
- 8日 エンジニアのコーディングをサポートするプラットフォームを開発するイスラエル企業 Swimm は、2760 万ドルを調達。Insight Partners が投資をリード。
- 8日 イスラエル VC の StageOne Ventures は、4 番目のファンドとして 1 億 2000 万ドル規模の新しいファンドを組成。
- 9日 イスラエルのビジネスモニタリング企業 Anodot は、イスラエルのクラウド関連スタートアップ Pileus を買収。額は非公開。Pileus には以前にソフトバンクが投資。
- 9日 デジタルコンテンツを中心にオンラインコミュニティを構築する OpenWeb（元 Spot.IM）は、11 億ドルの評価で 1 億 5000 万ドルを調達しユニコーンの仲間入り。
- 10日 イスラエルの動画・マルチメディア配信企業 Minute Media は、聴衆を拡大しマネタイズする技術を開発するイスラエル企業 Wazimo を 6~7000 万ドルで買収。
- 10日 営業者向けの窓口情報等の共有プラットフォームを開発するイスラエルの Lusha は、15 億ドルの評価で 2 億 500 万ドルを調達し、ユニコーン企業の仲間入り。
- 10日 イスラエル VC の 83North は、フィンランド企業 Wolt の最大株主だが、米国企業 DoorDash が Wolt を 81 億ドルで買収したことで、大きな利益を獲得。
- 10日 リモートワーク環境をマネジメントするプラットフォームを開発するイスラエル企業 ControlUp は、他企業の買収のために 1 億ドルを調達。

- 10日 イスラエルの動画配信企業 Vimeo は、イスラエルの動画自動生成企業 Wibbitz を買収。額は非公開だが Wibbitz が今まで調達した 3000 万ドルを下回るとみられる。
- 10日 動画再現企業 D-ID は、家族の歴史を発見するプラットフォーム開発の MyHeritage と組んで、古い写真から祖先の顔を描く Deep Nostalgia というツール提供を開始。
- 10日 あらゆる天気や光の状況での高画質データ取得を目指し短波長赤外線をセンサーとするソリューション開発を行うイスラエル企業 TriEye は、7400 万ドルを調達。
- 11日 世界的なスポーツメディア企業 DAZN は、イスラエルのスタートアップ Texel を買収し、DAZN X という名前のイスラエルにおけるイノベーション拠点のベースに。
- 11日 イスラエルの医療スタートアップ Salignostics は、世界で初めての唾液による妊娠検査キット Salistick を来年初頭に販売開始と発表。
- 11日 イスラエルの軍事企業 Elbit は、韓国に対して空中で使用する弾薬を供給する 7400 万ドルの契約を締結。韓国空軍による精密兵器プログラムの一環。
- 11日 イスラエルはインドとの間で、ドローンや AI、量子技術やブレインマシンインターフェースといった軍事関連技術を共同で開発する協定を締結。
- 14日 イスラエルの大手銀行である Leumi 銀行の投資部隊 Leumi Partners は、The Garage という新しいファンドを IDF のインテリジェンス部隊出身者達と組成中。
- 14日 イスラエルの軍事企業 Elbit は、UAE に拠点を設立する旨を発表。UAE 軍との関係を強化し、ニーズに沿ったカスタマイズを行う予定。
- 15日 イスラエルのサイバーセキュリティ分野のユニコーン企業 Clatory は、同国の医療機器向けサイバーセキュリティ企業 Medigate を 3 億ドルで買収交渉中。
- 15日 AI を活用してクラウドが効率的に動作するようにリソースを最適化するプラットフォームを開発するイスラエル企業 Zesty は、3500 万ドルを調達。
- 15日 イスラエル VC の JAL Ventures は 1 億 500 万ドル規模の 2 号ファンド設立。同ファンドから既にインシュアテック企業 Novidea や e-Mobility 企業 VOOM に投資。
- 15日 イスラエルの財務省は、2021 年のイスラエル GDP 見通しを 5.5% から 7.1% に引き上げ。2022 年の見通しは、4.7% に据え置いた。
- 15日 イスラエルの軍事企業 Elbit は、アジア太平洋の国々に対して自動銃システム等を供給する 1 億 600 万ドルの契約を締結。
- 16日 イスラエルの AI スタートアップ AI21 Labs は、新たに Wordtune Read という、AI を活用して長い複雑な文書を数秒で要約するツールを提供開始。
- 16日 ブロックチェーンの大規模化を可能とする技術開発を行うイスラエルの StarkWare は、20 億ドルの評価で 5000 万ドルを調達し、ユニコーン企業の仲間入り。
- 16日] Facebook を運営する Meta は、イスラエルのデジタルマーケティング企業 yellowHEAD と組み、イスラエルスタートアップ向け Meta Startup Hub を創設。
- 16日 企業がコーディングすることなく顧客向けのデジタルサイト等を構築できるプラットフォームを開発する EasySend は、更なる開発に向け 5050 万ドルを調達。
- 16日 イスラエルと UAE との間で経済連携交渉が開始。担当大臣間でビデオ会議が実施された。アブラハム合意後、同国間の貿易量は増加しており更なる後押しを目指す。
- 17日 富士通は、イスラエルのベングリオン大学内に AI に関するサイバーセキュリティの研究開発拠点を設置した旨をプレスリリース。

- 17日 AI コンピュータビジョン企業の Nexar は、5300 万ドルを調達。同社は何十万のドライブレコーダーからデータを収集。同規模はテスラに次ぐ二番目と見られる。
- 17日 各種ブランドがあらゆる販売者等とつながることを助けてドロップ SHIPPING 等を自動化する技術を開発するイスラエル企業 Cymbio は、2000 万ドルを調達。
- 17日 牛からミルクをとる必要性をなくすため、自然精密発酵を用いた牛乳同様のタンパク質生成技術を開発するイスラエル企業 Imagindairy は、1300 万ドルを調達。
- 17日 主に米国とイスラエルで投資を行う VC の Fort Ross Ventures は、レイトステージのスタートアップ向け投資を行う 1 億ドル規模のファンドを組成。
- 17日 地中海のガス田からの税収を元にしたイスラエルのソブリンウェルスファンドは 2022 年中頃に運営開始予定と報道。
- 17日 イスラエルとヨルダンは UAE が仲介して、ヨルダンに太陽光発電を開発してイスラエルに送電し、イスラエルが淡水化施設を設置し水をヨルダンに送ることに合意
- 18日 イスラエルの機関投資家向け不動産投資管理等を支援する FlipOS というプラットフォームを開発する Stoa は、同開発のため 1 億 3600 万ドルを調達。
- 18日 直感的に人間と AI が共に操作するドローンシステムを開発するイスラエル企業 XTEND は、2000 万ドルを調達。日本と関係が深い Chartered Group がリード。
- 18日 イスラエルのクラウドデータセキュリティ企業 Laminar は、ステルスモードから転換し、3200 万ドルを調達。同社は 8200 部隊出身者等が創設。
- 18日 イスラエルの IAI と UAE の EDGE は、軍事・民間両用向けの自動走行を行う無人走行車両の共同開発等に係る MoU に署名。
- 18日 イスラエル人の米国入国に必要なビザ取得の必要がなくなることは早くて 2023 年となる旨、Ayelet 内務大臣が発言。
- 21日 AI を活用してハイリスクの取引を自動検知するといった Fintech のコンプライアンスをサポートするイスラエル企業 Sedric は、350 万ドルを調達。
- 21日 e コマース販売者のサプライチェーン管理等を支援するプラットフォームを開発するイスラエル企業 8fig はシリコンバレーバンクの融資を合わせて 5000 万ドル調達。
- 21日 クレジット会社のマスターカードは、イスラエルのベルシェバに、サイバーセキュリティ・Fintech に関する新たなイノベーションラボを設立。
- 21日 イスラエルの医療機器インキュベーター MEDX Xelerator は、米国の医薬品大手 West Pharmaceutical Services と提携。
- 22日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 XM Cyber を、欧州小売大手の Schwarz Group が 7 億ドルで買収。XM Cyber は、元モサド長官の Tamir 氏等が設立。
- 22日 保険リスク移転等を支えるイスラエルのインシュアテック企業 Vesttoo は、3 億ドルの評価額で、1500 万ドルを調達。日本の MS&AD Ventures も投資に参加。
- 22日 Web 上で特定のユーザーに狙い撃ちで通知を表示する Webhook 技術を開発するイスラエル企業 Svix は、Y コンビネータの助けを得て 260 万ドルを調達。
- 22日 イスラエルの VC である OurCrowd は、Abu Dhabi Global Market よりイスラエルの VC として承認・ライセンスを受け、UAE における活動を開始。
- 22日 UAE のムバダラ開発公社は、イスラエルにある Tamar ガス田の権益 22% を、イスラエルの Delek Drilling から 10 億ドルで購入する取引に合意。

- 23 日 イスラエルのゲーム会社 Moon Active の評価額が昨年初頭の 12 億 5000 万ドルより 50 億ドルに急成長。同評価額で 3 億ドルを調達。Insight Partners がリード。
- 23 日 Whatsup をカスタマーエンゲージメントに活用することを可能とするプラットフォームを開発するイスラエル企業 Whatslly は、1100 万ドルを調達。
- 23 日 Foxconn Interconnect Technology はイスラエルの V2X(Vehicle-to-Everything) 通信ソリューションを提供する Autotalks と提携すると共に 1000 万ドルを投資。
- 23 日 車企業 Volvo は、イスラエルの光学・イメージングスタートアップ Spectralics に Volvo Cars Tech Fund を通じて 200 万ドルを投資。
- 23 日 AI を活用してリアルタイムで翻訳・キャプションを行うプラットフォームを開発するイスラエル企業 Verbit は、20 億ドルの評価で 2 億 5000 万ドルを調達。
- 24 日 今年初頭に上場したイスラエルの Fintech 大手 Global-e は、米国の e コマース向けソフトウェア企業 Flow を 5 億ドルで買収。
- 24 日 在イスラエル UAE 大使館が、アブラハム合意を背景に、Startup Nation Central と連携して UAE・イスラエルイノベーションカンファレンスを開催。
- 24 日 アップルはイスラエルのスパイウェア企業 NSO Group に対し、アップルのスマートフォンユーザーをターゲットとしたことについて訴訟を提起。
- 24 日 前防衛大臣であり IDF の首席補佐官を務めた Moshe 氏は、Avron group が UAE と連携して設立した UAE を拠点とする VC である Synaptech のヘッドに就任。
- 25 日 イスラエル国防省は、サイバー製品のイスラエル企業からの輸出を認める国を 102 から 37 に削減。サウジアラビアや UAE 等が落ちた。日本は引き続き含まれる。
- 25 日 イスラエルとカタールの間でダイヤモンドに係る協定を締結。本協定は、冷え込んでいた同国同士の関係をより近づかせると見られている。
- 28 日 保険会社等に効果的な情報提供を行う AI プラットフォームを開発するイスラエルのインシュアテック企業 LeO は、米国市場の開拓に向けて 500 万ドルを調達
- 28 日 主に米国の小規模事業者向けに BtoB 支払いプラットフォームを開発するイスラエルのユニコーン企業 Melio において、創業者の一人である COO Ziv Paz 氏が離脱。
- 28 日 オミクロン株への対応により、イスラエル政府は外国市民がイスラエルに入国することを一部の例外を除き原則禁止に。
- 28 日 エミレーツ航空は、オミクロン株の感染拡大を受け、12 月 6 日開始を予定していた UAE とイスラエルとの間の航空便開始を延期。
- 29 日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 Armis は、34 億ドルの評価で 3 億ドルを調達。同社は 9 ヶ月前に 20 億ドルの評価で 1 億 2500 万ドル調達したばかり。
- 30 日 アメリカの暗号通貨取引所企業 Coinbase は、暗号鍵管理・防護スタートアップの Unbound Security を買収。Coinbase は同社を基盤に R&D センターを設立。
- 30 日 AI を活用した小規模事業者向けの金融サービスプラットフォームを提供するイスラエル企業 Fundbox は、11 億ドルの評価で 1 億ドルを調達し新たなユニコーンに。
- 30 日 イスラエルの TransitTech 企業の Via は 33 億ドルの評価で 1 億 3000 万ドルを調達。今回の資金調達は、IPO 前の準備の一部と見られている。
- 30 日 今年は今までで前年の 8 倍以上となる 9600 の EV がイスラエルにおいて販売されたが、そのうち 55%がテスラ。続く MG ZS EV は 15%。

# 主要経済指標

## 1. 経済成長率 (GDP)

### ● 2021年第3四半期の成長率は年率2.4% (一次推計)

中央統計局は、2021年第3四半期の経済成長率が2.4%だったと発表した(2021年第2四半期はロックダウンによる経済停滞からの反動増により年率16.6%)。

プラス成長には、設備投資の大幅な伸び(14.8%の増加)等が寄与した。

出典：イスラエル中央統計局

[National Accounts: First Estimate for Third Quarter of 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/national-accounts/first-estimate-third-quarter-2021)

## 2. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

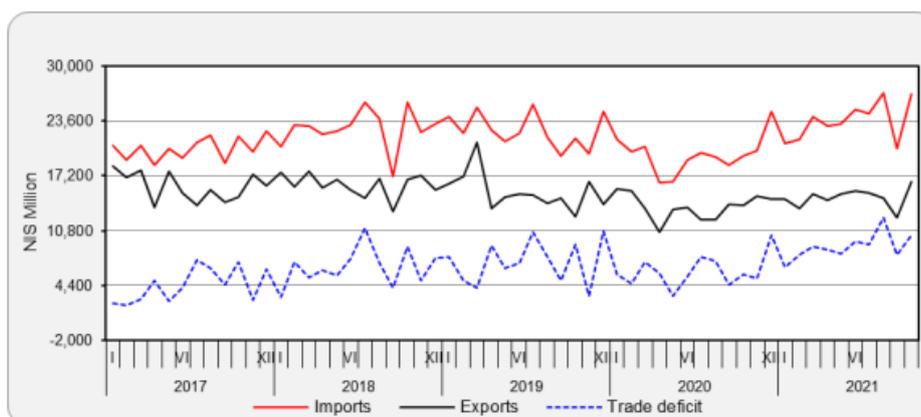
### ● 2021年10月の貿易赤字は102億NIS

中央統計局の発表によれば、2021年10月の物品輸入は268億NIS、物品輸出は166億NISであり、貿易赤字は102億NISであった。

物品輸入の45%は原材料(ダイヤ、燃料除く)であり、25%が消費財、13%が機械装置・陸上輸送機、17%がダイヤ、燃料、船舶、航空機である。物品(船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く)の輸入は直近3カ月で年率6.4%増加。

鉱工業製品の輸出が全体の87%を占め、12%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品。物品(船舶、航空機、ダイヤ除く)の輸出は直近3カ月で年率8.0%増加。工業製品輸出(ダイヤ除く)のうち40%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率16.8%増加。

Diagram 1 - Imports, Exports and Trade Deficit in Goods (original data)



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局

[Israel's Foreign Trade, Exports & Imports of Goods: October 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/foreign-trade/exports-imports-october-2021)



## 5. 政策金利 (INTEREST RATE)

### ● 中銀、政策金利を 0.1%で維持

11月22日、イスラエル中央銀行の金融委員会（日本でいう金融政策決定会合）は、政策金利を0.1%のまま維持することを決定。中銀による声明の要旨は以下のとおり。

イスラエルでは、COVID-19 ウイルスへの対応が続いているものの、経済活動の拡大が続いている。しかし、中期的な経済活動については、特に労働市場の状況や、イスラエル国内外におけるさらなる罹患サイクルのリスクを考慮すると、まだ不確実性が残る。

10月の消費者物価指数は0.1%上昇し、過去12ヵ月間のインフレ率は2.3%に低下。これまで世界で行われた利上げは、インフレ率が目標値から著しく乖離した国でのみ行われてきたが、イスラエルのインフレ期待値は目標範囲内にあり、イスラエル銀行調査局の予測やフォアワーによる予測に基づき、12ヵ月後のインフレ率は低下すると予想される。

危機を脱した過程を反映した第2四半期の急速な経済成長に続き、第3四半期の国民経済計算データの第1次推定値によると、経済成長は鈍化し、年率2.4%となった。しかし、過去4四半期の成長率は約6%だった。

レビュー期間中、急激なシェケル高が見られた。イスラエル中央銀行は、金融委員会が年初に発表した300億ドルの購入プログラムを完了した。しかし、委員会はこれが介入の上限ではなく、イスラエル中央銀行は経済の状態と経済活動の継続を考慮して行動し続けていることを強調している。

労働市場のデータによると、経済は危機以前の典型的な雇用と失業の水準に戻ることが困難な状況に直面している。10月の広範な失業率は約7%に低下したが、雇用率は安定している。

住宅価格は過去12ヶ月間で約10%上昇し、以前に比べて高い上昇率となった。賃貸価格の年間上昇率は比較的穏やかに推移した。

世界経済は、回復傾向が続いているものの、成長率の鈍化の兆しが強まっている。世界のインフレ環境は高止まりしており、上昇を続けているが、主要国の中央銀行や予測者は、この上昇のかなりの部分が持続するとは考えていない。それに応じる形で、世界中で金融引き締めが続いている。

イスラエル銀行は12月中に市場での国債購入を完了し、これにより、2020年中に発表された債券市場介入プログラムは終了する。

イスラエル経済の危機からの回復過程は続いている。しかし、経済活動にはまだ課題がある。そのため、委員会は、成長のペース、雇用、インフレ率の経路に応じて、緩和的な金融政策を長期にわたって継続する。これは、政策目標の達成と経済の危機からの回復を引き続き支援するためであり、また、金融市場の秩序ある機能の継続を確保するためである。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は1月3日。

出典：イスラエル中央銀行

[Bank of Israel - Press Releases - The Monetary Committee decides on November 22, 2021 to keep the interest rate unchanged at 0.1 percent \(boi.org.il\)](https://www.boi.org.il/press-releases/the-monetary-committee-decides-on-november-22-2021-to-keep-the-interest-rate-unchanged-at-0.1-percent)

## 6. 為替 (EXCHANGE RATE)

- 11月の為替相場は、金融委員会後に弱含んだが、その後相場下落基調は収束

早期利上げへの期待から世界の主要通貨に対して強含みで推移していたが、イスラエル中央銀行金融委員会が歴史的な低水準である0.1%の金利据え置きを発表したことが転機となった。

10月の消費者物価指数の上昇率が0.1%と予想外に低かったため、世界の中央銀行がインフレ抑制のために行動を起こさなければならない中、イスラエル銀行は待つ余裕があるということで、利上げの期待が後退し、シェケル安が進んだ。

なお、イスラエル銀行が金利を0.1%に据え置いたことを受けて、ゴールドマン・サックスのエコノミストは、イスラエルの輸出が好調な間は、イスラエル銀行はシェケル高に対して寛容になるだろうと発信している。

ゴールドマン・サックスのエコノミストは、イスラエル中央銀行が長期にわたって低金利を維持すると考えている一方、JPモルガンのアナリストは、イスラエル銀行が今後12ヶ月間で28ベーシスポイントの利上げを行い、今後24ヶ月間で72ベーシスポイントの利上げを行うと見ている。



出典：報道・グローブス紙 <https://en.globes.co.il/en/article-shekel-opens-week-stronger-as-markets-stabilize-1001392563>

<https://en.globes.co.il/en/article-shekel-weakens-after-boi-rate-call-1001391873>

グラフ出典：中央銀行・10月のドルシェケル相場推移

[Bank of Israel - Exchange Rates - Chart \(boi.org.il\)](http://Bank of Israel - Exchange Rates - Chart (boi.org.il))

## 7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

- 10月末時点の外貨準備高は2,075億ドル。引き続き歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、10月末時点の外貨準備高は、前月比34.9億ドル増となる2,075億ドルであった。GDPの47%を占める。

増加の要因は、中央銀行による外貨購入（17.53億ドル増）と為替等の再評価（20.21億ドル増）。他方、その増加額の一部は、民間移転（1.16億ドル減）、政府移転（1.65億ドル減）によって相殺された。

出典：イスラエル中央銀行

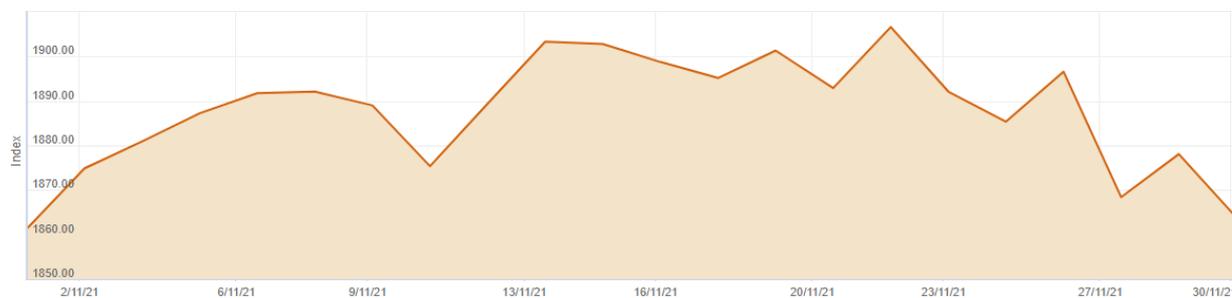
[Bank of Israel - Press Releases - Foreign Exchange Reserves at the Bank of Israel, October 2021 \(boi.org.il\)](http://Bank of Israel - Press Releases - Foreign Exchange Reserves at the Bank of Israel, October 2021 (boi.org.il))

## 8. 主要株価推移（TA35）

### ● 月間推移

Trading Chart - TA-35

01/11/2021 - 30/11/2021



### ● 年間推移

Trading Chart - TA-35

01/12/2020 - 30/11/2021



### ● 11月のテルアビブ証券取引所（TASE）関連ニュース

- 3日、FinTech投資特化型VCのGroup11がTASE UPで取引開始。VCでは初。
- 7日、TASEで7回目となるGlobal Entrepreneurship Weekを開始。
- 8日、Fintech企業Payment Financial Technologies社がIPOを行い、取引開始。
- 29日、TASEにおけるSPAC上場に関するルール案をパブリックコメントのため提示。

出典：テルアビブ証券取引所

<https://www.tase.co.il/en>

# イスラエル経済関係記事

## スタートアップ° QUMRA'S TOP11:2022 年に注目すべきイスラエル企業

Qumra Capital が毎年発表するリストには、過去に Papaya Global、BigID、Snyk といった成功した企業が含まれていることで知られている。では、2022 年には誰に注目すべきか？

銀行サービスのプラットフォームから、実物製品のリアルなデータを収集するタグまで、またハッキング攻撃をシミュレートするシステムからサイバー攻撃の自動検知まで、Qumra Capital によると、これらは最も有望なイスラエル企業だ。

11 月 16 日火曜日、Qumra Capital は 3 年連続で、イスラエルのハイテク分野で最も有望な成長企業のリストを発表し、次の大物になる道を歩んでいる企業を発表した。従来、このリストには 10 社が含まれていたが、今年は Qumra Capital の意向で 11 社となった。

Qumra Capital のマネージング・ジェネラル・パートナーである Boaz Dinte 氏は、以下のように語る。

「明日の有望な成長企業を選ぶことを 3 年連続続けてます。今年は特に反響が大きく、数十社の革新的な企業が選ばれました。これらの企業は、深みのある技術をベースに、市場への高い製品適応力を持ち、すでに急速な成長と大きな成長の可能性を示しています。Papaya Global、BigID、Snyk、Augury などの過去のリストを誇らしげに眺めていると、今日発表する企業がそこに加わり、世界規模で優良企業から偉大な企業へと変貌を遂げようとしていることを確信することができます。」以下がその 11 社。

### ●Connecteam

分野：Organizational computing

設立：2015 年

創設者：Amir Nehemia, Daniel Nuriel and Yonatan Nuriel

従業員の数：110

調達額：4000 万ドル

投資家：Avishai Avrahami、Insight、OG tech

Connecteam は、企業が現場や末端の従業員を管理するための社内アプリケーションを数分で構築できるプラットフォームを提供している。このプラットフォームは現在、Sodastream、Tnuva、Isrotel、Fox、Sodexo、Nike など、世界中の 10,000 社以上の企業で利用されている。このプラットフォームでは、組織内コミュニケーション、出勤簿、シフト管理、タスクの割り当て、トレーニング、アナウンスなど、管理者と従業員の間で行われる組織内のすべてのプロセスを一つの屋根の下で完全にデジタル化できる。

CEO の Amir Nehemia は Calcalist の取材に対し、「非常に複雑な状況であったコロナの期間中、不確実性や緊急事態、頻繁な変化に対処する組織にとって Connecteam がいか

に不可欠であるかを知ることができてよかったです。このプラットフォームが、通常の仕事のルーティンを維持し、従業員と管理者の間のコミュニケーションを維持し、従業員の不安レベルを軽減するのに有意義なツールであることを知り、非常に満足しています。すべての従業員にメッセージを送り、それが届いて読まれたことを知ることができること、場所に入る前に従業員に「コロナ・フォーム」を簡単に設定することができること、ほぼ毎日のように変更される手順や規則などのリソースを提供することができることは、従業員の大部分がデスクトップや電子メールのない現場にいる企業のエグゼクティブには利用できない重要なツールです。」と話した。

#### ●Run:AI

分野 : Organizational computing

設立 : 2018 年

創設者 : Omri Geller、Ronen Dar

従業員の数 : 63

調達額 : 4,300 万ドル

投資家 : Insight Partners, TLV Partners, S Capital

AI のソリューションは、イノベーションと競争上の優位性を生み出すために組織内で開発される。技術的な課題が複雑化するにつれ、より大きな計算能力を必要とする学習や大規模なデータセットに基づく、さまざまな AI のモデルが開発されている。これらの膨大な計算ニーズに対応するために、企業はプライベートクラウドやパブリッククラウドを利用して、AI のタスクに特化した新しい強力なコンピューティングセンターを構築している。

Run:AI は、コンピューティングタスクと新しいコンピューティングインフラの間のギャップを埋めるソフトウェアレイヤーを構築した。このシステムは、組織のすべてのコンピュータリソースを 1 つのグループに統合し、組織のニーズや優先順位に応じて、同時に実行されるすべてのタスクに動的かつ自動的にリソースを割り当てる。計算機資源の利用率の最大化を支援する同社のプラットフォームは、ボトルネックを解消しつつ、特にデータの学習段階で実行される計算タスクを高度な並列アルゴリズムで自動解析し、AI の計算タスクを仮想化・高速化するレイヤーをベースにしている。

#### ●Ermetic

分野 : Cyber

設立 : 2019 年

創設者 : Shai Morag、Arick Goomanovsky、Michael Dolinsky、Sivan Kringsman

従業員の数 : 100

調達額 : 2750 万ドル

投資家 Accel, Norwest, Target Global, Glilot Capital

Ermetic は、クラウド環境におけるプラットフォームのアクセスリスクに対する保護ソリューションを提供している。Gartner によると、クラウドにおける情報漏えいの 99% は人為的なミスによるもので、そのうち 75% は ID 管理の不備やアクセス許可のミスによるものだという。Ermetic は、最小権限の原則に基づいて、ユーザーやコンピューティング

アプリケーションに対して、許可ポリシーをより厳密に適用することを可能にし、AWS、Microsoft Azure、Google Cloud などのクラウド基盤からの情報漏えいを防止する。

Ermetic のシステムは、クラウド環境におけるユーザー、サービス、アプリケーションのアイデンティティを自動的に識別し、情報アクセスポリシーに基づいて権限レベルや役割を分析するとともに、複数の技術レイヤーを統合した高度な分析能力と幅広いシステムの視点をを用いて、包括的で継続的なコンセプトを策定する。

#### ●CyCognito

分野 : Cyber

設立 : 2017 年

創設者 : Rob Gurzeev、Dima Potekhin

従業員の数 130

調達額 : 6,000 万ドル

投資家 Accel、Lightspeed、Dan Sheinman、UpWest

CyCognito のシステムは、企業ネットワークに接続されているすべてのデバイス、コンピュータ、テクノロジーを明らかにすることができる。多くの IT 管理者は、どのシステムが自社のシステムに接続されているのか、またどのような脆弱性があるのかを知らないのが現状だ。同社のプラットフォームは、機械学習を利用して顧客へのデジタル攻撃をシミュレートすることで、どのデジタル資産が攻撃者にとって最も魅力的な情報を保持しているか、どれだけ簡単にハッキングできるかをサイバー保護チームに示す。

現実のハッカーと同様に、CyCognito は、企業のプラットフォームを操作するために組織のネットワークに何かをインストールする必要がないという点でユニークであり、フルスケールでの運用を可能にしている。現在、今日における世界最大の組織内における侵入防止に貢献しており、急速に拡大している。

#### ●Granulate

分野 : Performance improvement systems

設立 : 2018 年

創設者 : Asaf Ezra、Tal Saiag

従業員の数 : 75

調達額 : 4,500 万ドル

投資家 : Insight、Dawn Capital、Red Dot Capital Partners、TLV Partners、Hertz Ventures

コンピューティングコストの上昇は、あらゆる規模、あらゆる業界の企業にとって大きな課題となっている。Granulate は、OS レベルでアプリケーションのリソース使用パターンや情報フローパターンを学習することで、顧客のアプリケーションに専用の方法で OS を適応させるソリューションを提供し、この問題に取り組んでいる。

Granulate のシステムは、OS のメカニズムを分析し、ボトルネックや優先順位の機会を特定し、これらのメカニズムに関する優先順位付けやスケジューリングの決定を、アプ

リケーションのニーズに合わせてリアルタイムかつ最適な方法で実行することで、パフォーマンスの向上と大幅なコスト削減を可能にする。

## ●Bionic

分野：Organizational computing

設立：2019年

創設者：Idan Ninyo、Eyal Mamo

従業員の数：50

調達額：2,000万ドル

投資家：Cyberstarts, Battery Ventures

Bionicは、企業が業務の中核となる何千ものエンタープライズアプリケーションを管理するためのプラットフォームを開発した。様々な組織のIT担当者やセキュリティ担当者は、一方で秩序やセキュリティを維持することが求められ、他方で開発者は競争力を維持するために迅速に作業を続ける必要があるという状況で、エンタープライズアプリケーションは混沌としており、企業全体が運用やセキュリティの危険にさらされている。

同社のプラットフォームは、情報セキュリティチームにとって、開発者がエンタープライズアプリケーションに加える何百、何千もの変更によってもたらされるリスクを軽減するのに役立つ。Bionicは、従来のコンピューティング環境と最新のクラウド環境の両方において、アーキテクチャの変更、セキュリティ脅威、および規制違反を自動的に検出する。自動リバースエンジニアリングのおかげで、Bionicは、組織内のすべてのアプリケーションのライブアーキテクチャマップを自動的にかつ継続的に提供する唯一のソリューション。このシステムにより、Freddie Mac、Armis、GSKなどの企業は、ソフトウェア開発プロセスを加速させると同時に、関連するリスクを大幅に削減することができる。

## ●DataRails

分野：Fintech

設立：2015年

ファウンダー Didi Gurfinkel、Eyal Cohen、Oded Har-Tal

従業員の数 137

調達額：6,000万ドル

投資家 Innovation Endeavors、Zeev Ventures、Vertex Ventures

DataRailsのクラウド財務計画・分析システムは、中小企業の財務担当者向けに販売されており、月次および四半期ごとの財務報告書の作成プロセスを完全に自動化する。このプラットフォームは、ユーザーの仕事のやり方を変えることなく、財務データをリストアップし、それを自動的に集約し、分析する。これにより、財務アナリストや専門家は、データを詳細に調査し、これまでできなかった洞察を引き出し、連結されたすべての企業データを包括的に把握することができる。これにより、財務アナリストや専門家は、従来は不可能だったデータの詳細な調査や洞察の抽出が可能になり、すべての統合された企業データを包括的に把握できるようになる。このプラットフォームは、米国、英国、カナダの何百もの中小企業に提供されており、コロナ期間中に急成長を遂げた。

## ● Hunters

分野：Cyber

設立：2018年

創設者：Uri May、Tomer Kazaz

従業員の数：70

調達額：5,040万ドル

投資家：Bessemer Venture Partners、Microsoft M12、YL Ventures、Blumberg Capital、USVP、Okta Ventures、Snowflake Ventures

Huntersは、クラウド、企業ネットワーク、エンドポイントなどにおける未確認の攻撃から組織を保護するためのプラットフォームを開発している。同社のプラットフォームは、大規模な組織がサイバー脅威を迅速かつ効率的に検出し、無力化することを可能にする。クラウド上の大量のデータを扱い、多数のセキュリティツールを管理し、それらを最大限にプロデュースすることが求められているセキュリティチームのために設計されている。世界の大規模な組織は、HuntersをSIEMに代わる最新のツールと考えている。

Huntersのプラットフォームは、従来のセキュリティ製品が見逃していた攻撃を検知する。これは、攻撃手法を自動的に識別し、組織内の異なるIT環境間で相互に参照することで実現している。同社はすでに、SnowflakeやTripActionsをはじめとするさまざまな顧客に、直販やCrowdStrike Store、Snowflake Partner Connectなどのパートナーを通じて、SaaSソリューションを提供している。

## ● Mesh

分野：Fintech

設立：2018年

創設者：Oded Zehavi、Eran Katoni

従業員の数：40

調達額：1,300万ドル

投資家 TLV Partners, Meron Capital

中小企業は、ビジネスのあらゆる部分をモニターしているが、ビジネスの経費に関しては、いまだにビジネス・クレジットカードのような時代遅れのソリューションに頼っている。Meshは、企業の既存の財務システムに統合しながら、ビジネス・クレジットカードなしでの支払いを可能にする。組織の多くの部門（人事、マーケティングなど）で行われる支払いを、財務管理チームが完全にリアルタイムでコントロールできるようにする。多くの組織は社用カードに大きく依存しており、カードの盗難、紛失、あるいは単に期限切れになると、事業活動に支障をきたす可能性がある。SaaSやクラウドサービスへの移行の成長の一環として、中小企業はビジネスを運営するために年間平均約40個のSaaSツールを使用しており、その多くは会社の日常業務にとって重要なものだ。組織によっては、これらのサービスの経費や利用状況を把握することが難しい場合もある。Meshは、ビジネスの支払いをより適切に管理し、SaaSの契約者がビジネスを中断する原因とならないようにするためのソリューションを提供する。また、承認されていない支払いの回収を防ぎ、必要のないサービスへの支払いを数秒以内にキャンセルすることも可能だ。

## ●Nexite

分野：Big Data

設立：2017年

創設者：Anat Shaked、Lior Shaked

従業員の数 50

調達額：83百万ドル

投資家 Battery Venture, Pitango, Vortex Capital Partners, Intel

Nexite は、物理的な製品に命を吹き込み、その製品を販売する小売業者にリアルタイムで情報を提供するデジタルアイテムに変換するプラットフォームだ。その情報は、商品の一つ一つから自動的に浮かび上がり、縫製工場で生産された瞬間から客の手元に届くまでの、商品のライフストーリーを共有する。手動のプロセスが多く、リアルタイムで何が起きているかの情報がほとんどない世界で、Nexite は物理的なものとデジタルを結びつけ、現代的な購買体験を可能にする継続的な情報を提供する。

各アイテムに取り付けられた同社のタグは、数セントのコストで自動的に送信される。同社はデータをクラウドに集め、分析、カスタマーエクスペリエンス、そしてもちろんサプライチェーンのための幅広いツールを提供している。スマートな在庫管理とともに、各アイテムが何回計測されているか、各アイテムの最適な場所はどこか、特定のアイテムの隣に置いた方が売れるかなどのインサイトを提供することができる。また、このシステムでは、お客様がレジを通さずに支払いを済ませることもできる。

## ●Unit

分野：Fintech

設立：2019年

創設者：Itai Damti、Doron Somech

従業員の数：35

調達額：7,000万ドル

投資家：TLV Partners, BTV, Aleph, Flourish, Accel

Unit は、企業が自社製品に金融サービスを組み込むことを可能にする、銀行サービスプラットフォームだ。同社のプラットフォームは、市場投入までの期間を短縮し、企業が口座、カード、決済、ローンなどの次世代の銀行業務を構築し、立ち上げることを可能にする。このプラットフォームは、銀行、規制、テクノロジーとの複雑な関係のプロセスを管理し、顧客が数週間以内に完全なバンキング体験を構築して立ち上げることを可能にする。Unit は発売以来、プラットフォーム上で口座、カード、決済、クレジット商品を作成するためのツールの提供を開始した。

出典：報道 CTECH

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3922584,00.html>

## スタートアップ° イスラエルのスタートアップ買収額が年間 95 億ドルに

年初来、約 86 社のイスラエルのハイテク企業を買収された。2021 年現在、イスラエルのハイテク企業が生み出した金額は 400 億ドルを下らず、民間の資金調達ラウンドでは 28 社のユニコーンが誕生し、20 社がウォール街で株式公開した。

レーダーを潜り抜けた 100 億ドル。これは、2021 年に入ってからイスラエルのハイテク企業を買収により、ほとんど騒がれることなくイスラエルに流れ込んだ印象的な金額を表現する一つの方法だ。この 1 年で注目されたのは、イスラエルのユニコーンがウォールストリートで上場したことであり、大規模な資金調達ラウンドも多くの見出しを飾っている。しかし、2021 年はまだ 2 カ月残っているのに、すでに記録を更新しているにもかかわらず、古典的な Exit は影を潜めている。Mobileye 社や Mellanox 社の売却のような劇的な取引はなかったが、会計事務所の PwC Israel が収集したデータを Calcalist が見たところ、今年最初の 9 ヶ月間におけるイスラエル企業を買収額は 95 億ドルに達していた。

年初来、約 86 社のイスラエル企業が売却されており、2019 年には 67 社で 77 億ドル、2018 年には 52 社で 40 億ドルだった。2020 年には、総額 61 億ドルで 41 社しかこのような取引が成立していない。その主な理由は、Covid-19 パンデミックの発生と、それによるデューデリジェンスの困難さのために、M&A 市場が停止したことだ。

メガ IPO や資金調達とは異なり、2021 年にこれらの取引が比較的静かに完了したのは、ほとんどの買収が小規模または中規模であったことが大きく影響している。今年最大の Exit は、2 月に MyHeritage を Francisco Partners に 6 億ドルで売却したことだ。ほとんどの場合、買収された企業は設立からわずか数年しか経っておらず、まだ大きな売上に達していない状態で、断れないオファーを受けたのだ。2019 年に設立されたサイバーセキュリティ企業 Bridgecrew を、Palo Alto Networks が 2 億ドルで買収したのもその一つだ。8 月にシスコが 5 億ドルで買収したクラウドスタートアップの Epsagon は、2018 年に設立されたばかりだった。

PwC が収集した数字には、非公開企業を買収しか含まれていない。つまり、公開企業を買収は集計に含まれていない。そのため、買収された時点でウォール街で取引されていた DSPG や Itamar Medical の買収は、リストに入っていない。もし入っていたら、総額は 100 億ドルを超えていただろう。とはいえ、PwC の計算によると、2021 年はイスラエル企業を買収件数だけでなく、買収金額の合計でも記録的な年となる（例えば Mobileye と Mellanox は買収時に上場企業だったため、前年には計算に入っていなかった）。

今年 M&A リストで特に興味深いのは、3 分の 1 の案件で買収企業がイスラエル企業でもあるという点だ。実際、イスラエルのスタートアップ企業による買収件数は、旧大陸の企業がわずか 10 件だったのに対し、イスラエル企業は 26 件の取引を完了し、欧州企業を追い越した。2019 年、イスラエル企業が企業買収に関与したのはわずか 11 件で、2018 年にはわずか 7 件にまで減少している。もう一つの注目すべき傾向は、現地のテックエコシステムに日本企業が関与するようになったことだ。イスラエルの Celeno は先週、日本の Renesas に 3 億 1500 万ドルで買収されたばかりで、日本の影響力は、SoftBank などによる資金調達市場や、NTT がイスラエルに R&D センターを設立するなど、雇用市場にも及んでいる。

出典：報道 CTECH

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3921974,00.html>

## 国家論 イスラエルの次の 100 年における STARTUP NATION の役割とは？

CTech は、マイケル・オーレン元駐米大使に、彼の野心的なマニフェスト「イスラエル 2048」について以下、話を聞いた。

イスラエルは建国 100 周年を迎えようとしているが、誇りに思える成果は数多くある。国境を守り、人口を増やし、記録的なハイテクシーンで世界の注目を集めている。世界が 2048 年、イスラエルの 100 歳の誕生日に近づくにつれ、多くの人々がユダヤ人の公式国家が将来達成できることを見据えている。

「イスラエル人は未来のことは話さない。今日、明日に起こっていることしか話さない。」元駐米イスラエル大使で、53 ページにわたるマニフェスト「イスラエル 2048」の著者であるマイケル・オーレンは、「今、議論を始めなければ、どう考えても第 2 の成功を収めた世紀を迎えられるとは言えない問題がある」と説明している。パンデミックの第一波が発生した際に、当時のネタニヤフ首相と話をした後に書かれたもので、オーレン氏は、ユダヤ人の生存に不可欠と思われるいくつかの要因を強調している。

「質を提示するだけでなく、質問を特定する」と表現されたオーレン氏は、イスラエルを見る際に解決しなければならないと思われるいくつかのポイントを強調している。特に、ユダヤ人の国民国家であることの意味や、非ユダヤ人の住民との関係などだ。

「私は議論を活性化させるために、これらの問題を提起しました。そして、多くの人々が私の言ったことに反対するでしょうが、それは全く問題ありません」とオーレン氏は言った。

オーレン氏は、2009 年から 2013 年まで、当時のオバマ大統領の下で駐米大使を務めたが、その際に米国市民権を放棄した。1979 年にイスラエルに移住した後、イスラエル国防軍に入隊し、1982 年のレバノン戦争では落下傘部隊として活躍した。オーレン氏はこれまでのキャリアの中で、政治的な問題について多くの記事を書いており、大使時代だけでも 60 本の論説を書いている。「イスラエル 2048」は、文化、アイデンティティ、政治、そしてそれらが国の将来にどのように関連するかを探求した最新の作品だ。CTech とのインタビューで、彼はある主要な未来を強調した。Startup Nation だ。

「この国を守るためには、いくつかの方法があります。一つは、IDF を市民の軍隊として存続させることです。IDF がアメリカのような任意の軍隊になれば、技術的に優秀な人は軍隊に行かなくなる。これは非常に大きなことだと思います。これがイスラエルのハイテクのインキュベーターなのです。」

長年の膠着状態を経て、今年にはナタフリ・ベネット氏という新しい首相が誕生した。元技術者であるベネット氏は、Startup Nation の必要性和、その繁栄が国の将来にとっていかに重要であるかを認識している。イスラエルが人材不足に陥っているという事実は、海外から「アリヤ」（移住）を続ける人々を惹きつける必要性を浮き彫りにしている。そのためには、移民政策の緩和が必要だとオーレン氏は主張する。

「私たちの移民政策は帰還法に基づいていますが、ハイテク企業がある種のエンジニアを必要としていて、そのエンジニアがインドにしかない場合、その人をイスラエル国内に住まわせることができなければなりません。」

イスラエルの人材は、アマゾンやフェイスブック、マイクロソフトといったグローバルな大企業に引き抜かれることが多く、イスラエルの企業もまた、それらの企業に買収され

ることが多い。Wix や Playtika のような新興企業の登場は珍しくなり、Mobileye のような企業でさえ、10 億ドルといった値札をつけてグローバル企業に買収されている。

「今は優秀なエンジニアが不足していて、国際的な大企業に買収されています」と彼は同意する。「そのエンジニアに必要な知識は、基本的にすべて外注されています。イスラエルのスタートアップ企業が多くエンジニアにアクセスできるよう、補助金を用意しなければなりません。ハイテク分野への投資を維持し、国家ブランドを確立しなければなりません。このような売国的な文化は、私たちが優位性を維持することを妨げるものです」。

イスラエル政府は、ハイテク分野では一般的に存在感の薄いコミュニティが、自衛隊で出会って絆を深めたサイバー系の人々に追いつくように支援している。ハレディームやアラブのコミュニティには、コンピュータサイエンスの学位を短期間で取得できる技術教育プログラムがあり、人材不足を補い、将来の世代がこの活況を呈している分野で働けるようにするためのアクセスも改善されている。イスラエルはいつの日か、医療技術やコンピュータチップの生産において先駆者となると信じるオーレン氏は、次の 100 年に向けて、恵まれない人々や海外からの協力を呼びかけている。

「企業がここに残るようにインセンティブを与えなければなりません。テクニオン大学を卒業したエンジニアには、アップル社に就職するのではなく、小さな新興企業に就職するようにインセンティブを与え、政府から補助金を出してもらおうのです。私たちは技術教育に投資しなければなりません。特にハレディームの人たちには、3~4 年の大学に行く必要はなく、コンピュータプログラミングやコンピュータサイエンスの 1~2 年のプログラムを受けさせなければならないのです。」

イスラエルの技術的未来は、イスラエル 2048 のひとつの側面に過ぎないが、強力な 2 世紀目を確実にするためには、今、議論しなければならないことにオーレン氏は賛成している。このマニフェストでは、立法、政治、宗教、外交の発展など、イスラエルの生活のあらゆる側面が議論されている。

「"生活の質" だけではない問題があります。一夫多妻制、不法入植地、さまざまな人口や領土に対する主権の崩壊などの問題があります。これらの問題は、私たちの存在の本質に関わるものであり、主権国家であり続けることができるかどうかに関わるものです。第二の世紀を成功させるためには、このような問題を議論し、広く理解する必要があります」と締めくくった。

出典：報道 CTECH

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3922193,00.html>

## マーケット ウォールストリートの現実が、イスラエルの技術系ユニコーンをプライベートな厩舎へと追いやる

過去 1 年間に公開された数多くのイスラエル企業は、公開市場が非公開市場よりもはるかに寛容でないことを知り、彼らの評価額の低下は他のユニコーン企業への警告となっている。

"プライベート市場はパブリック市場とシンクロしていない" この一文は、技術系の起業家や経営者との会話の中で繰り返されることが多くなっており、ゲーム会社の Playtika が 2021 年第 3 四半期の期待外れの財務報告を発表した後、水曜日に開催したカンファレンスコールでも出てきた。この報告により、同社の時価総額は 22% 急落し、IPO 評価額の 110 億ドルを下回った。

Playtika の株式は、投資家が一桁台の成長しかしていない会社の株式を処分しようとしたため、水曜日の取引開始後 1 時間で一日の平均出来高に達した。Playtika 社の第 3 四半期の業績は、売上高、利益ともに期待外れで、同社は年間予測を引き下げる結果となった。

2 月に株式を公開した同社の第 3 四半期の売上高は、前年同期の 6 億 1,330 万ドルに対し、6 億 3,590 万ドルとなった。しかし、アナリストは 6 億 6,400 万ドルの収益を予想していた。純利益は 8,050 万ドルで、前年同期の 1 億 1,990 万ドルと比較して大きく減少した。通年の売上高は 25 億 7,000 万ドルを見込んでいるが、これはわずか 8% の成長を意味し、予想の 26 億 5,000 万ドルを大きく下回る。

ビデオ制作・配信企業の Kaltura も、今週、同様の運命を辿った。同社の株価は 17% 下落し、時価総額は 3 ヶ月前の IPO 時の評価額である 13 億ドルを下回り、約 10 億ドルにまで落ち込んだ。これは、第 4 四半期の売上高が第 3 四半期と同じ 4,300 万ドルになるとの残念な予想がなされたことによるものだ。

今年、物議を醸した SPAC（特別目的買収会社）による合併を選択した企業だけでなく、伝統的な IPO で上場したイスラエル企業のほとんども、現在、IPO 時の評価額を下回る価格で取引されている。例外は SentinelOne、monday.com、Global-e など、これらの企業はウォールストリートに進出する前に見せた驚異的な成長率を現在まで維持することに成功している。

このように、プライベート市場とパブリック市場のシンクロニシティが欠如していることが見て取れる。プライベート市場の評価額はかつてないほど高く、ますます多くのスタートアップ企業がユニコーンやデカコーンになる一方で、パブリック市場は若いハイテク企業に関してはそれほど興奮していない。これはイスラエルの企業に限ったことではなく、ウォール街がこれらの新規公開企業に対して示している一般的な感情であり、今年は主にハイテク分野の企業が多かった。

S&P500 は年初からすでに 24% 上昇しているが、新規公開企業のリターンを測る指数はわずか 6.9% の上昇にとどまっている。

ユニコーンにとって IPO は価値のないものになってしまう、このギャップをどう説明するか？ 巨大な VC が何十億ドルもの資金を新たに調達してハイテク企業に投資している現在の現実では、株式公開は必ずしも必要ではないかもしれない。プライベート市場で多額の資金を調達することは、IPO よりもはるかに迅速に行うことができる。SPAC 上場の場合でも、通常の株式公開と同様に、完了までに平均 6 カ月以上かかる。

その間にも、Tiger Global、Insight Partners、General AtlanticなどのVCは、数週間以内にオファーシートを提示し、多くの場合、より高い評価額を提示している。その理由は、これらのファンドが投資家から受け取る金額が高額で、彼らは資金がすぐに使えることを期待しているからだ。その結果、これらのファンドは、2億5000万ドル、あるいは4億ドルを調達している企業に対して、まだ収益を計上し始めたばかりであるにもかかわらず、すぐに資金を投入してしまうのだ。しかし、新規公開企業にとっての本当の頭痛の種は、パブリック市場に出た後、財務報告書を提示しなければならないときに始まる。今年上場して成功したハイテク企業の多くは、ここ数カ月間に何度もこのような経験をしている。例えばRiskifiedは、2ヶ月前に期待外れの業績を発表したことで株価が急落し、時価総額は最初の高騰のおかげですでに60億ドルに達していたにもかかわらず、IPO時の評価額である33億ドルを下回る約30億ドルにまで落ち込んでしまった。

市場が史上最高値を記録し、技術系企業が加速度的な成長を約束して上場しているため、投資家の期待は企業の倍率と同じくらい高くなっている。Playtikaのような一桁台の成長といった失敗は許されず、株式市場における報復と懲罰の申し子となっている。このような出来事は、非上場企業にもあるが、投資先の選択肢が数多くあるウォールストリートの世界における投資家には通用しない世界なのだ。

非上場企業の場合は、長期的に安定した成長が見込めないという事実から、VCファンドは数回の平凡な、あるいは期待はずれの四半期を受け入れることができる。なお、最悪の場合は、会社の評価額が下がるダウンラウンドを経験することを恐れるあまり、次の資金調達ラウンドの開催を急がないだけだ。

しかし、ウォール街に恵みの日はなく、今後数週間、他のハイテク企業からの期待は何か「驚くべきもの」を求めることになるだろう。公開されたばかりの企業の株価が乱高下したことは、IPOを検討している他の企業にとっても警告の意味を持つ。これは、資金調達が容易であるという理由だけでなく、上場したユニコーン企業の中には、投資家の予測や期待を管理するのに十分な経験を積む前に、早々と上場してしまった企業もあったからだ。Playtikaの話に戻るが、より経験豊富な上場企業であれば、アナリストの予測を大幅に下回るようなケースでは、四半期報告書で投資家の期待を裏切るのではなく、失望した投資家の打撃を和らげるために業績予想の修正を発表した方が良いことを知っていたらう。

出典：報道 CTECH

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3921729,00.html>

# 日イスラエル経済関係記事

## 一般動向 イスラエルに向けて疾走する新幹線

日本を代表する企業 30 社が先月ドバイで集まり、日本企業、U A E の企業、イスラエルの企業間のコラボレーションを検討した。この集まりと議論は、Weiss Porat（イスラエル）、西村・浅井法律事務所（日本）、Afrifi & Angel 法律事務所が共同で開催したセミナーで行われた。日本企業の国内市場や国際市場での能力と、U A E 企業の中東やインドの市場での資金調達や参入をもたらす能力を利用して、イスラエルのイノベーションや先端技術を融合させながら、共同活動を生み出す可能性に、誰もが魅了された。テルアビブの Weiss Porat チームのメンバーである Shira Freon 弁護士によると、会議に出席した日本人は待ちきれず、着陸した時にはすでに、エネルギー、食品、掘削、医療機器、医薬品の分野での協力要請を机の上で考えついたそうだ。

これに加えて、日本の多国籍企業である東芝が 3 つの会社に分割することを発表したことに見られるように、日本側の現在の発展が加わった。会社の規模、経営方法、部門間で情報等を共有しないという日本的なスタイルが、近年の成長と再生を妨げていた。この分割現象は、三菱電機をはじめとする日本の重工業、化学工業、総合商社、さらには自動車メーカーなどにも波及していくものと思われる。

これに加えて、脱炭素化に関する世界的な合意（グラスゴー会議）は、伝統的な燃料源である天然ガスや石炭によるエネルギー生産（気候を乱し、地球の持続可能性に悪影響を及ぼす）を軽視することを意味する。日本のメーカーは、エネルギー使用を合理化し、代替エネルギーを創造・開発するためのイノベーションと技術を熱心に求めている。

## コロナ禍にも拘わらず行われるイスラエルへの投資

これらはすべて、イスラエルのスタートアップ企業やテクノロジー企業にとってのチャンスであり、日本のエコシステムにイノベーションや先端技術のソリューションを提供することができる。実際、日本企業のイスラエルでの活発な活動の中で、そのような機会を探し、実現することが日々行われている。先日、日本の産業界や金融機関がイスラエルのエコシステムに関与している 2 つの新しい案件についてお知らせした。

世界最大の投資ファンドである日本のソフトバンクは、イスラエルの OurCrowd ファンドに 2,500 万ドルを投資し、イスラエルのハイテク分野への投資を可能にするプラットフォームの構築を支援している。この投資に先立ち、元モサド長官の Yossi Cohen 氏がソフトバンク・イスラエルの代表に就任した。今回の投資は、イスラエルのイノベーション経済に積極的に関与していく決意を示している。また、日本の大手チップメーカーであるルネサスエレクトロニクス社は、スマート Wi-Fi ソリューションを提供するイスラエルの Celano Communications 社を Raanana 社から買収し、3 億 1,500 万ドルを投資した。日本の多国籍企業がコロナ時代に日本国内外への投資を控えていたのは、明白な理由があったとも言えるが、日本企業が今日、そして疫病の翌日に必要としているイノベーションリーダーや技術開発者と見なしたイスラエル企業への投資を妨げることはなかった。

それだけではなく、世界で最も収益性の高い企業 100 社にランクインしている日本の通信会社、NTT がイスラエルにイノベーションラボを設立し、サイバーセキュリティ、デジタルヘルス、ロボティクスに焦点を当てて NTT と融合させ、世界中の顧客に販売することを目している。この取り組みは、NTT が数年前からイスラエルで活動しており、NTT のベンチャーキャピタルファンド「ドコモ・ベンチャーズ」を通じて、かなりの数のイスラエルのスタートアップ企業に投資していることを考えると、特に顕著だ。

日本の周辺地域の企業もイスラエルに機会を求めている。そのような九州の企業は、大気モニタリング用の製品を探して見つけ、現在、イスラエルの Ora Air 社と協力して、日本の市場に合う製品を開発・販売している。

この時期の日本におけるイスラエルの話題性（コロナとの戦いが印象的だったこともある）は、日本の大手チェーン店がイスラエル市場に興味を持っていることにもつながっている。日系の国際的な小売チェーンであるセブンイレブンは、日本を訪れたイスラエル人によく知られており、今後 3 年間で数十のコンビニエンスストアをイスラエルに設立する予定だ。

## 多彩な文化イベント

日本とのビジネスについて書くとき、もちろん日本文化（ビジネス文化と日本文化に関する知識の両方）を抜きにしては考えられない。偶然にも、最近、イスラエル人に日本の別の側面を見せてくれる幅広い文化的イベントが開催されている。テルアビブ美術館で開催されている草間彌生の回顧展は、日本由来の動物の最も重要な創作者として、また、前衛芸術やポップアート運動における重要な発言者として知られる日本人アーティストを紹介するものだ。この展覧会に対するイスラエル人（および現地のビジネス企業）の強い関心は、日本からイスラエルへの流れが一方通行ではなく、イスラエル人全般、特にイスラエルのビジネス界が日本との関係に熱心であることを反映している。

また、ここ数カ月の間に行われた大使の交代劇にも注目すべきだ。外務省のアジア太平洋地域担当副局長であるギラード・コーエンがイスラエルの駐日大使に任命され、現地からの報告によると、発展する日本との関係に対する彼の専門的かつ個人的な熱意が伝わってくる。日本からは水嶋光一大使が着任したが、水嶋大使はイスラエル人との会談の中で、両国のビジネス界をより緊密にするための熱心な支援者であることを明らかにしている。

## イスラエルのビジネスマンに門戸を開く

イスラエルのビジネス界にとって最も重要な出来事は、日本政府が 11 月 12 日からイスラエルのビジネスマンに日本の門戸を開くと発表したことである。まだ 3 日間の隔離義務を伴うためらいのある開門だが、本稿で述べた約束の実現を可能にする大きな一歩である。日本の経済界は、この 1 年半の流行の中で、デジタルメディアへの急速な適応や、日本企業によるイスラエルへの投資の勢いが続いており、コロナ以前の時期でも毎年増加していることに、嬉しい驚きを感じている。しかし、長い目で見れば、イスラエルと日本の潜在的なビジネスパートナーの会合に代わるものはない。

出典：HaareZ（11 月 24 日付け新聞におけるイスラエル日本商工会議所会頭の投稿記事）

## サイバーセキュリティ 高度かつ安全な AI 利用の実現に向け、イスラエルの研究拠点にて富士通とベングリオン大学が共同研究を開始

富士通株式会社（以下、富士通）と Ben-Gurion University of the Negev（以下、ベングリオン大学）は、イスラエルのベングリオン大学内に設置した富士通の研究拠点「Fujitsu Cybersecurity Center of Excellence in Israel（以下、富士通 CCoE IL）」（所在地：イスラエル ベエルシェバ市）において、実社会での安全な AI 利用を支援する技術およびソリューションの開発に向けて、研究テーマの検討や体制整備を経て、2021 年 10 月より共同研究を開始しました。

富士通とベングリオン大学は、昨今課題となっている、AI モデルや学習データなどへのセキュリティ脅威が引き起こす様々な問題を解決する技術を研究開発し、AI を実装したシステムやソフトウェアにおけるセキュリティの高度化を目指します。

なお、本共同研究にあたり、富士通は、ベングリオン大学の 100%子会社として産学連携の窓口を担う BGN Technologies Ltd.（以下、BGN テクノロジーズ）と、2021 年 9 月 1 日より 3 年間の契約を締結しています。

### （背景）

昨今、監視カメラを用いた不正行動の検知や、製品の異常検知による品質管理、顧客へのおすすめ商品のレコメンド、自動運転など、あらゆるシーンで AI の利用が浸透しており、今後も広く加速していくと考えられます。

一方で、映像データに特殊なノイズを加えることで AI に人物の誤認識や動作の誤検知を起こさせたり、AI の学習データに含まれる機密情報を盗み漏洩させたりするなど、攻撃の手口が巧妙化しており、それらの対策が急務となっています。

### （共同研究の概要）

1. 研究期間：2021 年 9 月から 2024 年 8 月まで

2. 役割分担および体制：

#### ＜役割分担＞

富士通：

- ・ AI を実装したシステムやソフトウェアにおけるセキュリティ技術の研究開発
- ・ 技術検証のシナリオ検討
- ・ 技術の検証および評価の支援

ベングリオン大学：

- ・ AI を実装したシステムやソフトウェアにおけるセキュリティ技術の研究開発
- ・ 技術の検証および評価

#### ＜体制＞

富士通とベングリオン大学の研究員 約 20 名

### 3. 研究内容：

富士通とベングリオン大学は、イスラエルに設立した研究拠点「富士通 CCoE IL」において、AI に対するセキュリティ脅威に関する様々なケースを想定した実証実験を行い、それらを防御するために必要となる技術の確立に向けて先進的な研究を推進します。

研究テーマの一例として、自動航行ドローンへの攻撃検知やネットワーク通信への不正検知などのシーンに、新種の攻撃など未知の脅威を検知可能な AI モデル（Out of Distribution 検知モデル）を適用し、日々進化する攻撃手口に適切に対処するための技術を開発します。そして、その技術を製品の異常検知などにも応用し、学習時には想定していなかったデータが出てきた場合にも対応できる AI の実現を目指します。

#### （今後の展望）

今後も、富士通とベングリオン大学は、「富士通 CCoE IL」での研究開発を通じて、幅広い分野に対応できる AI のセキュリティ技術を確立するとともに、それらの先進技術をソリューションとしてグローバルに提供し社会実装することで、様々な社会課題の解決に貢献していきます。

出典：富士通株式会社プレスリリース

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2021/11/16-3.html>

## インシュアテック MS&AD がイスラエル企業 VESTTOO の投資に参加

イスラエルの保険技術（インシュアテック）スタートアップである Vesttoo は、多国籍銀行の Banco Santander が支援する Mouro Capital と、世界第 5 位の保険コングロマリットである日本の MS&AD Insurance Group Holdings のコーポレートベンチャーキャピタルファンドである MS&AD Ventures から、1500 万ドルのシリーズ B エクイティ投資を完了したことを 11 月 22 日に発表した。

推定では、今回のラウンドは 3 億ドルの企業評価額で実施され、Vesttoo は来年中にユニコーンとなり、評価額 10 億ドルを超えることが期待されている。Vesttoo は、2020 年に数百万ドルの収益を記録したが、2021 年には数千万ドルに増やしている。

Mouro Capital と MS&AD は、我々が見ているのと同じ機会を見ている。Vesttoo の CEO である Yaniv Bertele 氏は、以下のように述べた。

「Mouro Capital と MS&AD は、Vesttoo のマーケットプレイスを、資本市場から保険会社に直接キャパシティをもたらすグローバルなディール・パイプラインとして、また、この新しいアセットクラスを開放することで投資家に卓越したリスク・リターンを提供するという、我々と同じ機会を見出しています。我々は共に、ILP と完全なデジタルマーケットプレイスを拡大していきます。」

Hanaco Ventures による 600 万ドルのシリーズ A ラウンドからわずか 3 カ月後の今回のシリーズ B ラウンドでは、Vesttoo が提供するセキュリティベースの投資ポートフォリオである ILP（Insurance-Linked Program）や、保険ベースのリスク移転と投資のための完全にデジタル化されたマーケットプレイスの拡大を目指す。この 2 つのサービスは、再保険市場における資金調達のギャップを埋めることを目的とした Vesttoo の事業戦略に不可欠なものだ。

Vesttoo の ILP 投資ポートフォリオは、完全に担保された生命保険および損害保険の再保険取引に焦点を当てている。ILP プログラムを通じて、投資家は既存の有価証券をこれらの取引の担保として差し入れることができ、リスクプロファイルを増やすことなく、現在の利回りを上回る追加スプレッド（長期的なストラクチャードα）を得ることができる。

さらに、Vesttoo のマーケットプレイスは、保険会社に資本市場のオリジネーション能力へのアクセスを提供する。一方、投資家は、低ボラティリティーの保険リスクと魅力的なリスクリワードで構成される新しい資産クラスへの直接アクセスから利益を得ることができる。

Mouro Capital は 4 億ドルの資産を運用しており、これまでに iZettle（PayPal が買収）、Kabbage（American Express が買収）、Credits、Curve、Ripple、Tradeshift、Trulioo、Upgrade などの企業に投資している。

Mouro Capital の General Partner である Chris Gottschalk は、次のように述べている。

「Vesttoo が革新を続け、ILP のような新商品を保険会社と資本市場の両方に提供していく中で、Vesttoo と提携できることを嬉しく思います。我々は、真に差別化された市場を構築するためにテクノロジーを活用するチームの能力に感銘を受けました。」

MS&AD ベンチャーのマネージングパートナーであるジョン・ソバーグは、次のように述べている。

「MS&AD ベンチャーズの我々のチームは、Vesttoo が再保険市場に適用しているリスク移転に対する技術主導のアプローチにとっても期待しています。気候変動やサイバーなどのリスクがより大きく、より複雑になっていく中で、これは未来であり、大きなチャンスだと考えています。Vesttoo には素晴らしいチームがあり、私たちは彼らと一緒に旅をすることを楽しみにしています。」

出典：CTECH

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3923108,00.html>

## イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント等の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトをご覧ください。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館ウェブページ・イスラエル保健省ウェブページ等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 [https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/corona\\_jouhou.html](https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/corona_jouhou.html)

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/>

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

### エネルギー ENERGYVEST（2021年12月15日，エイラット）

エネルギー技術における最も革新的なスタートアップを発掘するために、グローバルな脱炭素化チャレンジ・コンペティションを開催。最大500万ドルの資金を調達している最も有望なスタートアップ企業10社を厳選して紹介。

<https://israel-keizai.org/wp/wp-content/uploads/2021/11/EnergyVest.pdf>

### モバイル ISRAEL MOBILE SUMMIT 2021(2021年12月15～16日,オンライン)

モバイルアプリ，ゲーム，アドテクに関する国際イベント。カンファレンスの他，スタートアップコンテストも開催され，希望者には1対1ミーティングもセッティング。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

### サイバーセキュリティ CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022（2022年1月25～27日，テルアビブ）

サイバーセキュリティに関するイスラエルにおける最大のイベント。

<https://www.cybertechisrael.com/>

## **観光** IMTM2022 - 28TH INTERNATIONAL MEDITERRANEAN TOURISM MARKET (2022年2月8~9日、テルアビブ)

イスラエル最大の観光博。2021年は中止されたが、2020年は世界57か国が展示を行い、約27,000人が参加。

<https://www.imtm-telaviv.com/>

## **化学** ISRACHEM (2022年3月8~9日、テルアビブ)

化学、石油化学、石油精製、製薬、バイオテクノロジー、食品、洗剤、化粧品、エコロジー、鉱物、肥料、雑草・害虫駆除、塗料、添加物産業のための技術・器具・サービスの展示会。今回17回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israchim/en/>

## **防衛** ISDEF2021 (2022年3月21~23日、テルアビブ)

防衛・警察・サイバー関係の製品を扱う最大級のイベント。今回で11回目。

<https://www.tlv2021.isdefexpo.com/>

## **スタートアップ** 2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT (2022年5月25日、エルサレム/オンライン)

エルサレムのクラウドファンディング型VCであるOurCrowdによる年次イベント。OurCrowdの投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2020年は186か国から23,000人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

## **投資** TEL AVIV ANNUAL INSTITUTIONAL INVESTMENT CONFERENCE (2022年6月、テルアビブ)

数百の機関投資家が集まる国際会議。

<https://tlvii.com/>

## **実験器具** ANALIZA（2022年11月8～9日，テルアビブ）

産業用実験施設向けの技術・器具等の展示会。重工業や製薬産業向けの実験施設向けの器具・測定機器、クリーンルーム、ドラフトチャンバーやフィルターを扱う。

<https://www.stier.co.il/analiza/en/>

## **デジタルヘルス** DIGITAL HEALTH.IL（時期未定）

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC（シェバメディカルセンターイノベーションセンター），Israel Advanced Technology Industries が主催。過去5年では，毎回700名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

## **イノベーション** LAHAV EXECUTIVE EDUCATION（通年，テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね1週間のプログラムで，個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

## 日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

### ライブサイン 第4回 KBIC グローバルウェビナー（2021年12月8日、オンライン）

～ 『中東のシリコンバレー』、スタートアップ大国・イスラエルとのコラボを通して競争力を高める ～

何故イスラエルでは有望なスタートアップが次々と輩出されるのだろうか。世界有数のスタートアップ大国であるイスラエルとのコラボレーション成功事例から、アントレプレナーシップ醸成やイノベーション創出の秘密を学ぶ。

[【オンライン開催】第4回 KBIC グローバルウェビナー – 駐日イスラエル大使館 經濟部 \(israel-keizai.org\)](https://israel-keizai.org)

### イノベーション 浜松市主催 第4回イスラエルセミナー（2021年12月17日、オンライン）

昨年から、浜松市主催のグローバルものづくり企業連携事業の一環として始まりました本イベントですが、今回で4回目を数える事となりました。

今回は同市ベンチャー支援アドバイザーからの連携における留意点をお話頂き、また昨今注目を集めております、イスラエルブレインテックの企業も登壇し、日本での成功事例等を紹介頂きます。

<https://israel-keizai.org/wp/wp-content/uploads/2021/11/Seminar-Hamamtsu.pdf>

### イノベーション イスラエル DeepTech スタートアップとの共創実現のカギ（2021年12月20日、オンライン）

「スタートアップ活用」、「オープンイノベーション」が多く取り組まれている中で、本当に価値のある Deep Tech スタートアップと共創するための重要成功要因は何か。

現地のスタートアップエコシステムのエキスパートや有識者が登壇し、具体的な事例を交えてお伝えします。

[https://israel-keizai.org/events/event/webinar-deep\\_tech\\_startup/](https://israel-keizai.org/events/event/webinar-deep_tech_startup/)